

みんなの声を聞くには？プロジェクト

活動を通して学んだこと

このプロジェクトでは、次代を担う私たちと伊勢市議会のみなさんが連携しながら、地方行政等に開心を持つていただくとともに、市議会議員さんとの意見交換や話し合いを通じて、どのようにすれば市民の方に地方行政等にはどのようにすればいいのか考える識を高めるためにはどのようにすればいいのかを考えながら楽しく活動しています。

議会の仕組みや伊勢市議会にて取り組まれていることはもちろん、このような事態の中でどうのように行活動に取り組めばよいか、ということで臨機応変に対応していくことを学ぶことができました。



TEAM DATA	メンバー数：3名
活動場所	伊勢市
実施主体	伊勢市議会
担当教員	齋藤 平（教育開発センター）
活動年度	H29, H30, R01, R02

月別活動

(7月) ミーティング

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

「みんなの声を聞くには？プロジェクト」は、あることから、1つの方法として、若い世代に地域行政等への関心を持つてもらうため、市内の高校生や大学生との意見交換会等を開催することで、次代を担う若者に政治参加のきっかけと意識高揚を促すという目的のもと活動を行っています。主な活動内容としては、市議会の方々と個別具体的な事例を通してディスカッションを行うことで、若い世代を中心とした伊勢市民が地方行政に参加する手段を考察することです。

今年度のミーティングでは、主に新型コロナウイルス影響下でのどのような活動ができるか、どのようなイベントを催していけばよいか、などなどを話し合っていました。オンラインで市議会議員さん達と一緒にイベントや電話会議を行った。「伊勢市高校生議会」や「聞こえ！話そう！市議会議員」等のイベントを規模を縮小し、新型コロナウイルス感染対策をしっかりと行って開催する等、さまざまな活動案が考えられていました。残念ながら実現には至りませんでしたが、議員さんや議会事務局の方との話し合いを重ねたことで、来年度の活動に大いに役立てられるものになりました。

新型コロナウイルスの影響もあり、今年度はほとんど活動できていませんでしたが、来年度以降は新型コロナウイルス感染対策にも気を配りつつ、積極的に活動していきたいと思います。

実施主体からのコメント

伊勢市議会事務局 倉井さん

皇學館大学の皆さんには、一人ひとりがしっかりとした意見や考え方を持ち、伊勢市議会との活動に情熱をもって取り組んでいたのでいます。今後も「みんなの声を聞くには？プロジェクト」と伊勢市議会が連携し、尽力する活動を展開していきたいと思っています。

担当教員より

教育開発センター 齋藤 平

令和2年度は新型コロナウイルス（COVID-19）感染症により、正課・正課外とも大きな影響が出ました。とりわけ地域の課題解決に取組むC-LI活動は、学外の方との接觸を避けなければならないという活動の本質に迫る危機に直面しました。また、新メンバーの勧誘ができるないなどいうことも危機の一つとして挙げることができます。

そのような中には、プロジェクトは、「みんなの声を聞くには？」プロジェクトは、LINEを活用して、議会事務局と連絡を取り、活動の再開時機を待ちました。ようやく、2月初旬に議員お二人と議会事務局の方との意見交換の場を持つことができました。

今後は、オンラインも活用しながら、議会機能の啓発に資する活動を進めてくれることを期待しています。



成果物／制作物